

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	17 - デ学 - 5
-----------------	-------------

平成 17 年度配分 研究成果の概要

研究名	デザイン学部の教育目標とカリキュラムに関する研究				
配分を受けた特別研究費	デザイン学部長特別研究費				1,000千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン学部	生産造形学科	教授	坂本 鐵司	統括担当
共同研究者	デザイン学部	生産造形学科	教授	河原林桂一郎	生産造形学科の教育目標とカリキュラムの検討
			助教授	迫 秀樹	
	デザイン学部	メディア造形学科	教授	古田 祐司	メディア造形学科の教育目標とカリキュラムの検討
			教授	望月 達也	
デザイン学部	空間造形学科	教授 助教授	寒竹 伸一 横山 稔	空間造形学科の教育目標とカリキュラムの検討	
発表の方法 (予定で可)	1 紀要:		号数	第 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表		発表日 (発表 予定 日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:デザイン学部全教員に対する報告会を開催し、内容を報告した。また、報告書を全教員に配布した。		発表日 (発表 予定 日)	平成 18年 3月17日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

米:当該研究は当学内部状況に関わる研究のため紀要掲載,学外発表等は行わないこととした。

(研究の目的等)

平成16年度、創設4年の完成年度を受けて、一部カリキュラムを改良してスタートしたが、更に4年後の平成20年には大幅な内容の見直しが予測される。来るべき大学全入時代を迎え、魅力ある大学としてその存在を確立するにあたり、本学の教育目標をより明確にしてそれにふさわしい教育内容を具備した教育課程を必要としている。本研究は、その実現のための基礎的な研究を行う。

(研究の実施方法等)

共同研究者7名による研究プロジェクトチーム(C-PJ)を4月に結成し平成18年3月末まで研究活動を行った。調査・調査のまとめ、分析などを任務分担して研究し、月2回のプロジェクト打ち合わせで活動のまとめ、方針立てと研究内容のまとめを行った。

<実施内容>

- ① これまでのデザイン学部、及び各学科の教育成果に関する評価
- ② デザイン学部と各学科の教育課程における問題・課題の抽出
- ③ 3学科連携のあり方と大学院教育目標の検討
- ④ 来るべき大学全入時代にふさわしいデザイン学部のあり方について、教育課程に関わる全般的な方向性の検討。(カリキュラムのみでなく、カリキュラムのよりどころとなる教育目標、教育・研究環境、その他についても検討)
- ⑤ 研究の中間段階において、学長ほか本学教務に関わる関係者に中間報告会を行い、意見聴取などを行っている。

(得られた成果等)

- ① 平成20年度のカリキュラム再編成に向けて、具体的な指針策定の基礎資料ができた。
- ② デザイン学部における平成20年度に向けた教育目標・カリキュラムに関わる問題・課題が明らかになり、教員間での問題・課題共有化と解決のための足がかりができた。
(当該研究プロジェクトで問題提起されている授業品質の向上など、個別の懸案事項については平成18年度デザイン学部長特別研究テーマとして継続研究し、具体化を推進させる計画となっている。)